

めあて 本論1の筆者の「説明の技」を読み取る。

☆本論1を読んで、筆者の「説明の技」はどんなところなのか見つけましょう。

・ 現状↓課題↓解決策・本論2への導入

・ 資料を使っている 具体的な数字を使っている。

⑥ 図①は、エネルギー源の種類を示したものです。現在最も多く使われているのが、石油の四十パーセント、次いで石炭の三十パーセント、天然ガスの二十パーセントで、この三種類が全体の九十パーセントをしめています。石油、石炭、天然ガスは「化石燃料」とよばれています。化石燃料は、大昔に地球に存在していた植物や動物が、地中で長い時間をかけて燃料として使える化石になったものです。これらは、使ってしまったらもう二度と同じものを作ることができないので、「使い切りエネルギー源」ともいわれます。

⑦ 図②は、世界のエネルギー消費量の移り変わりを示したグラフです。一八七〇年当時、世界のエネルギー消費量は全体で約一・八億トンでした。ところが一九五〇年になると十七・五億トンに増え、二〇〇〇年では九十億トンに達しています。一八七〇年と比べるとおよそ五十倍に増えています。この百三十年あまりの間に、エネルギーの消費量が急増していることがわかります。

何を示した資料であるかを書いている。

資料を詳しく説明している。

「説明の技」

- 一・ 現状↓課題↓解決策・本論2への導入の順に書いている。
- 二・ 資料を使っている。

- ① 何を示した資料であるかを書いている。
- ② 資料を詳しく説明している。
- ③ 具体的な数字を使っている。
- ④ 伝えたい内容に合った資料を選んでいる。

☆今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

・ 筆者の「説明の技」を読み取ることができましたか。

◎

○

△